第 11 回教育委員会定例会 案件表

〇日 時

令和7年6月4日(水) 午前10時00分から

〇議 題

1 議 案

(1) 議案第25号練馬区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則 (資料1)

2 陳情

(1) 今和6年陳情第4号 教科書採択傍聴会場に関する陳情〔継続審議〕

3 協議

(1) 旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置について〔継続審議〕

4 報 告

- (1) 教育長報告
- ① 練馬区立上石神井小学校および上石神井中学校校舎等改築基本設計概要について (資料2)② 練馬区立立野小学校校舎等改築基本設計概要について (資料3)③ 練馬区立開進第一小学校校舎等長寿命化改修基本設計概要について (資料4)
- ④ 練馬区立開進第二小学校校舎等長寿命化改修基本設計概要について (資料5)
- ⑤ こども誰でも通園事業の試行実施について (資料6)
- ⑥ その他

議案第25号

練馬区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

上記の議案を提出する。

令和7年6月4日

提出者 教育長 三 浦 康 彰

練馬区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

このことについて、別紙のとおり改正するものとする。

練馬区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

練馬区立学校の管理運営に関する規則(昭和53年9月練馬区教育委員会規則第 9号)の一部をつぎのように改正する。

第4条第1項第3号中「4月5日」を「4月6日」に改める。

第36条中「4月5日」を「4月6日」に、「4月6日」を「4月7日」に改める。

付 則

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

参考資料

令和7年6月4日 教育振興部教育指導課

練馬区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

1 改正の理由および内容

現在、小中学校の春季休業日は4月5日までとなっており、新年度を迎えるにあたり、始業式・入学式等の準備期間が短く、教員の大きな負担となっている。このため、令和8年度から、春季休業日の日程を変更する等所要の改正を行う。

- 2 施行期日令和8年4月1日
- 3 新旧対照表 別紙のとおり

練馬区立学校の管理運営に関する規則新旧対照表

現行

改正案

(休業日)

- 第4条 施行令第29条第1項の規定に基づく休業日は、つぎのとおりとする。
 - (1) 夏季休業日 7月21日から8月31日まで
 - (2) 冬季休業日 12月26日から翌年1月7日まで
 - (3) 春季休業日 3月26日から4月5日 まで
 - (4) 開校記念日
 - (5) 都民の日条例(昭和27年東京都条例 第75号)の規定する日
 - (6) その他委員会が定める日
- 2 「略]

(準用規定)

第36条 第3条から第6条まで、第7条、 第8条の5第1項および第2項、第16条 から第21条まで、第23条、第24条、第26 条、第27条ならびに第32条の規定は、幼 稚園に準用する。この場合において、「3 月26日から4月5日まで」とあるのは「3 月19日から4月6日まで」と、「校長」と あるのは「園長」と、「小・中学校」とあ るのは「幼稚園」と、「副校長」とあるの は「副園長」と、「校務」とあるのは「園 務」と、「児童または生徒の教育」とある のは「幼児の保育」と、「および同項を準 用する法第49条」とあるのは「を準用す る法第28条」と、「学習指導要領」とある のは「幼稚園教育要領」と読み替えるも のとする。

付 則 [略]

(休業日)

- 第4条 施行令第29条第1項の規定に基づく休業日は、つぎのとおりとする。
 - (1) 夏季休業日 7月21日から8月31日まで
 - (2) 冬季休業日 12月26日から翌年1月 7日まで
 - (3) 春季休業日 3月26日から4月6日 まで
 - (4) 開校記念日
 - (5) 都民の日条例(昭和27年東京都条例 第75号)の規定する日
 - (6) その他委員会が定める日
- 2 「略]

(準用規定)

第36条 第3条から第6条まで、第7条、 第8条の5第1項および第2項、第16条 から第21条まで、第23条、第24条、第26 条、第27条ならびに第32条の規定は、幼 稚園に準用する。この場合において、「3 月26日から4月6日まで」とあるのは「3 月19日から4月7日まで」と、「校長」と あるのは「園長」と、「小・中学校」とあ るのは「幼稚園」と、「副校長」とあるの は「副園長」と、「校務」とあるのは「園 務」と、「児童または生徒の教育」とある のは「幼児の保育」と、「および同項を準 用する法第49条」とあるのは「を準用す る法第28条」と、「学習指導要領」とある のは「幼稚園教育要領」と読み替えるも のとする。

付 則 [略]

付 則

この規則は、令和8年4月1日から施行

する。

参考資料

令和7年6月4日 教育振興部教育指導課

練馬区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

現在、小中学校の春季休業日は4月5日までとなっており、始業式・入学式までの準備期間が短く、教員の大きな負担となっている。

そこで、令和8年度から、以下のとおり、始業式および入学式等の日程を変更する。

1 日程の変更

	現行	改正後			
春季休業日	3月26日から4月5日まで	3月26日から4月6日まで			
	幼稚園:4月7日午前	幼稚園:4月8日午前			
始業式	小学校:4月6日午前	小学校:4月7日午前			
	中学校:4月6日午前	中学校:4月7日午前			
	幼稚園:4月8日午前	幼稚園:4月9日午前			
入学(園)式	小学校:4月6日午前	小学校:4月8日午後			
	中学校:4月7日午前	中学校:4月8日午前			

※具体的なイメージ(令和8年度)

		玛	記行						改正	E後			
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	目
3/30	3/31	1 準備①	2 準備②	3 準備③	4	5	3/30	3/31	1 準備①	2 準備②	3 準備③	4	5
6 小始業式 (AM) 小入学式 (AM) 中始業式 (AM)	7 幼始業式 (AM) 中入学式 (AM)	(AM)	9 通常	10 通常	11	12	6 準備④	7 小始業式 (AM) 中始業式 (AM)	8 幼始業式 (AM) 中入学式 (AM) 小入学式	9 幼入園式 (AM)	10 通常	11	12

2 施行日

令和8年4月1日

3 その他

在校生・新入生保護者への周知を7月頃から順次行う。

令和7年6月4日 教育振興部学校施設課

練馬区立上石神井小学校および上石神井中学校校舎等改築基本設計概要について

練馬区立上石神井小学校および上石神井中学校の校舎の改築にあたり、このたび 基本設計が完了したので、その概要について下記のとおり報告する。

記

1 設計方針

教育内容の多様化への対応 多目的スペースの確保、ICT 環境の整備 環境配慮

屋上緑化、雨水利用、太陽光発電

バリアフリー化の推進

段差の解消、バリアフリートイレの設置、エレベーターの設置

防災拠点としての機能強化

防災備蓄倉庫、マンホールトイレ、体育館空調機の設置

2 施設概要

新校舎

構 造:(西敷地)鉄筋コンクリート造4階建

(東敷地) 鉄筋コンクリート造2階建

延床面積:約19,876 ㎡

校 庭:(西敷地)120mトラック、直線50m

(東敷地) 150mトラック、直線 100m、直線 50m

計画諸室:(西敷地)普通教室、特別教室、特別支援教室、管理諸室、小学

校体育館、給食室、学童クラブ室、ひろば室等

(東敷地)中学校体育館、プール、武道場

その他:体育倉庫の改築、屋外トイレの改築

仮設校舎

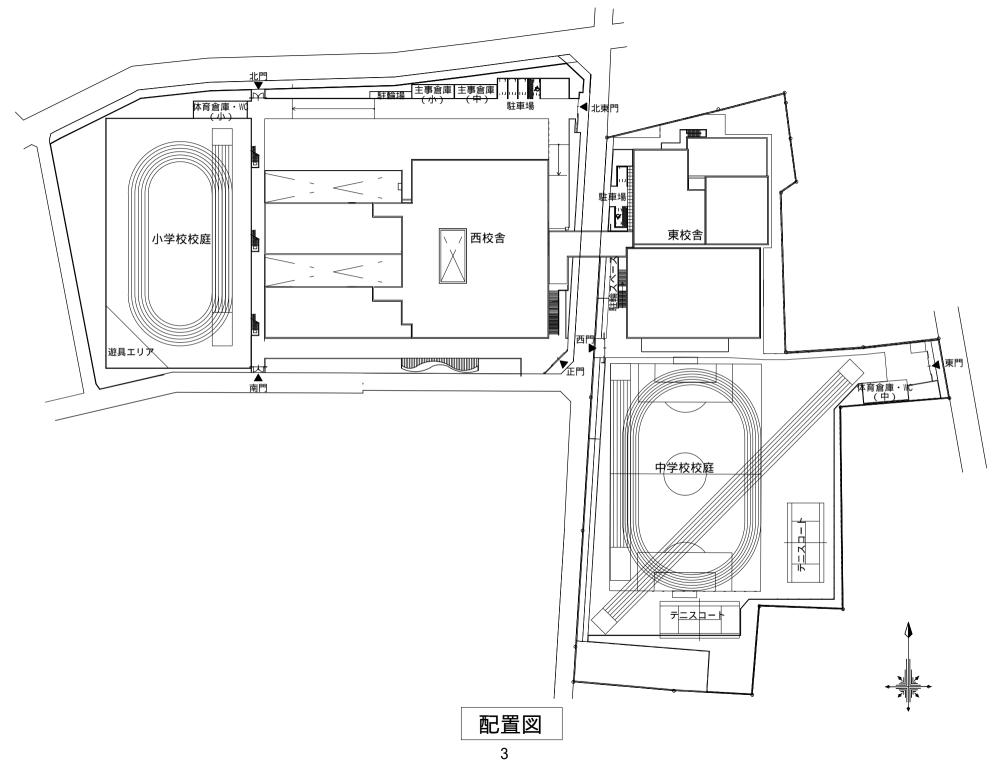
構 造:軽量鉄骨造3階建

延床面積:(西敷地)約4,600 ㎡

(東敷地)約5,660 ㎡

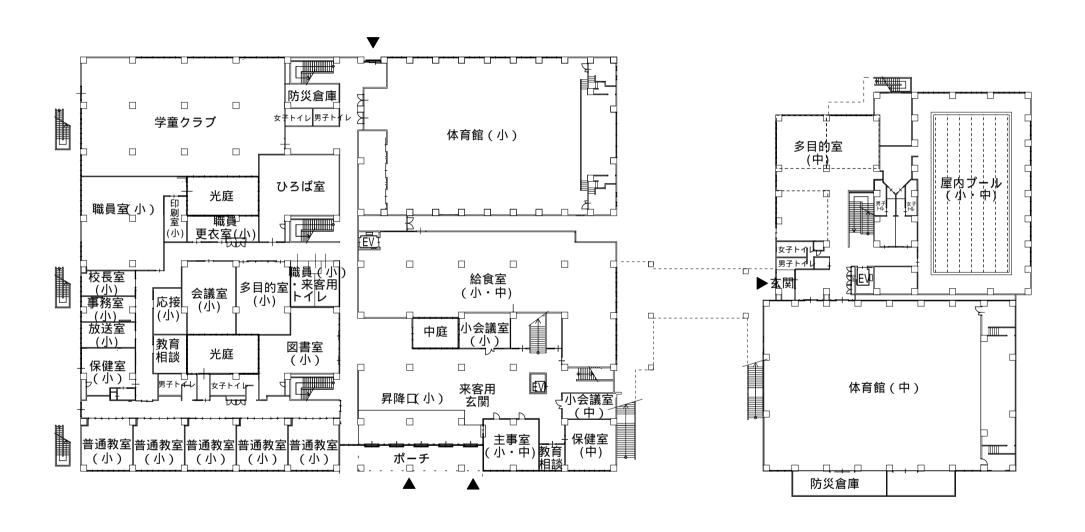
計画諸室:普通教室、特別教室、特別支援教室、管理諸室、給食室等

3 配置図、平面図および工事スケジュール添付のとおり

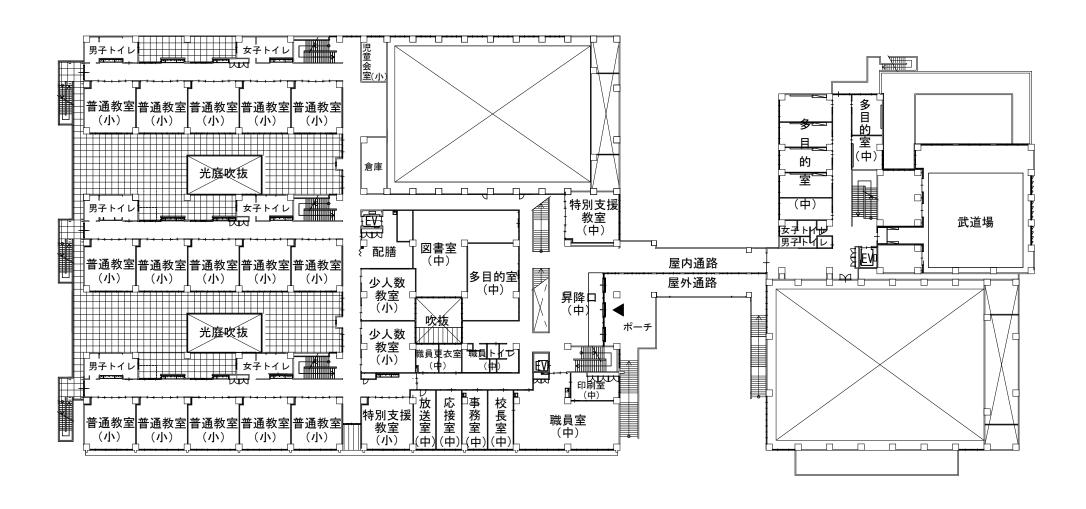


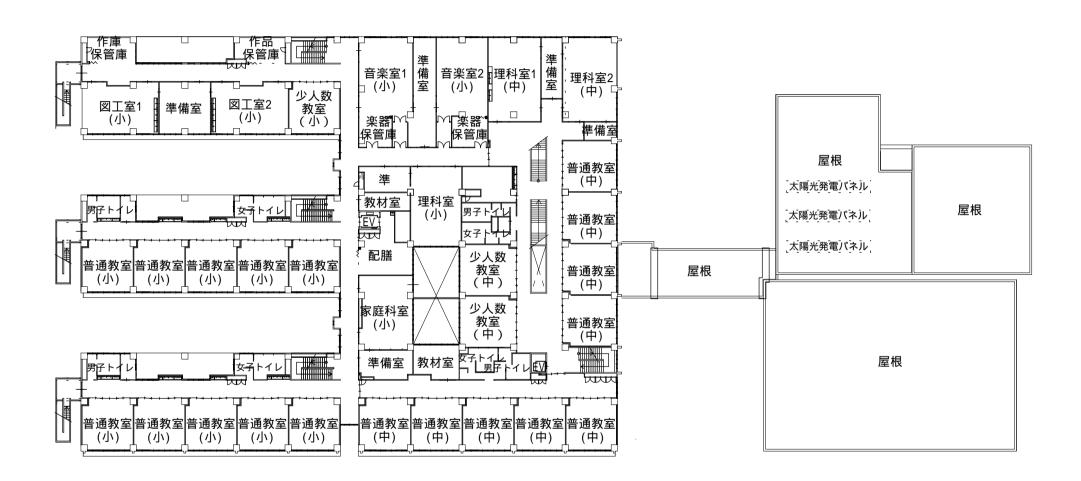
【西校舎】

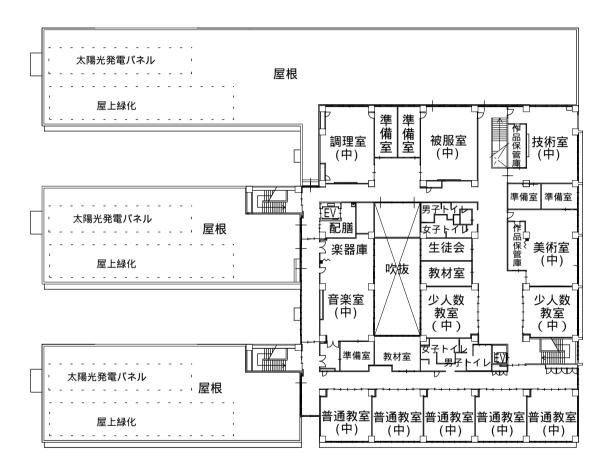
【東校舎】



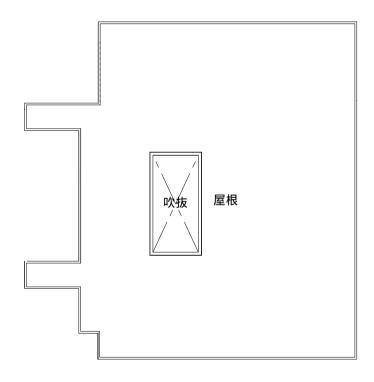
【西校舎】 【東校舎】





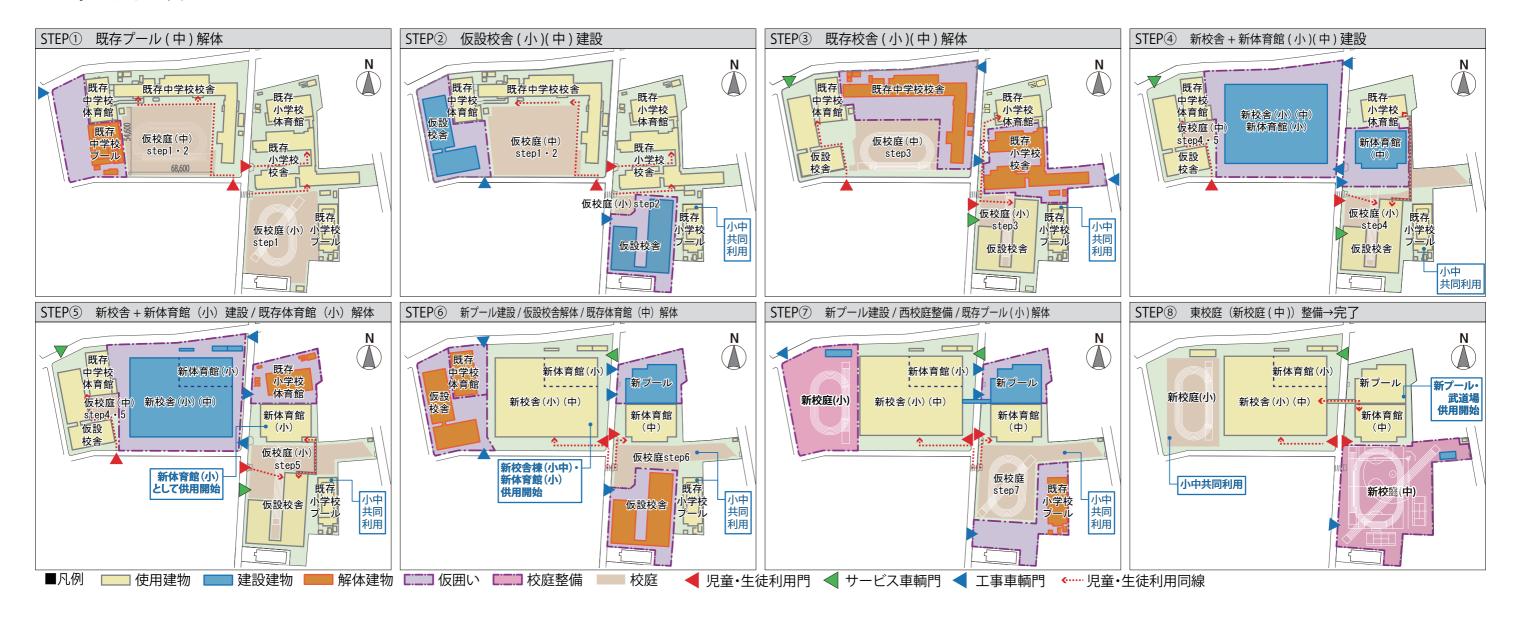


【西校舎】 【東校舎】

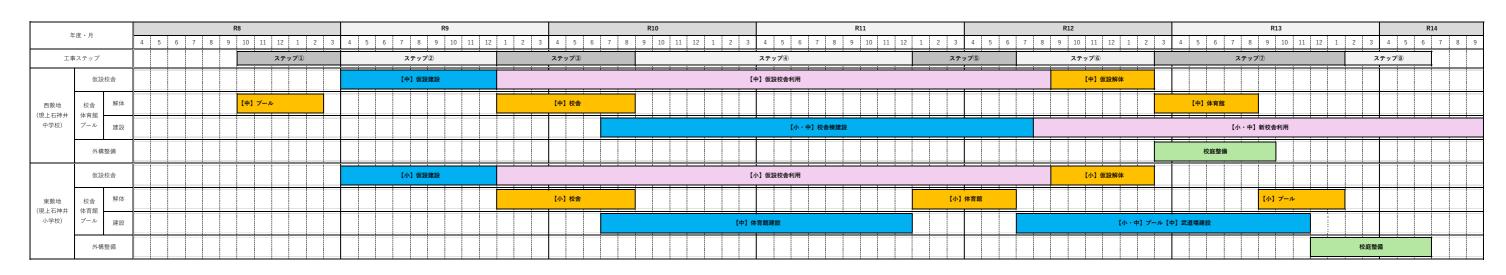


R階平面図

■工事ステップ図



■事業工程表



令和7年6月4日教育振興部学校施設課

練馬区立立野小学校校舎等改築基本設計概要について

練馬区立立野小学校の校舎の改築にあたり、このたび基本設計が完了したので、その概要について下記のとおり報告する。

記

1 設計方針

教育内容の多様化への対応 多目的スペースの確保、ICT環境の整備 環境配慮

屋上緑化、雨水利用、太陽光発電

バリアフリー化の推進

段差の解消、バリアフリートイレの設置、エレベーターの設置

防災拠点としての機能強化

防災備蓄倉庫、マンホールトイレ、体育館空調機の設置

2 施設概要

新校舎

構 造:鉄筋コンクリート造3階建

延床面積:約6,544 m²

校 庭:120mトラック、直線 50m

計画諸室:普通教室、特別教室、特別支援教室、管理諸室、給食室、

学童クラブ室、ひろば室等

その他:体育館の空調機設置、体育館の外壁・屋上防水改修、LED化・

自動火災報知機の改修 プールは別棟で改築

仮設校舎

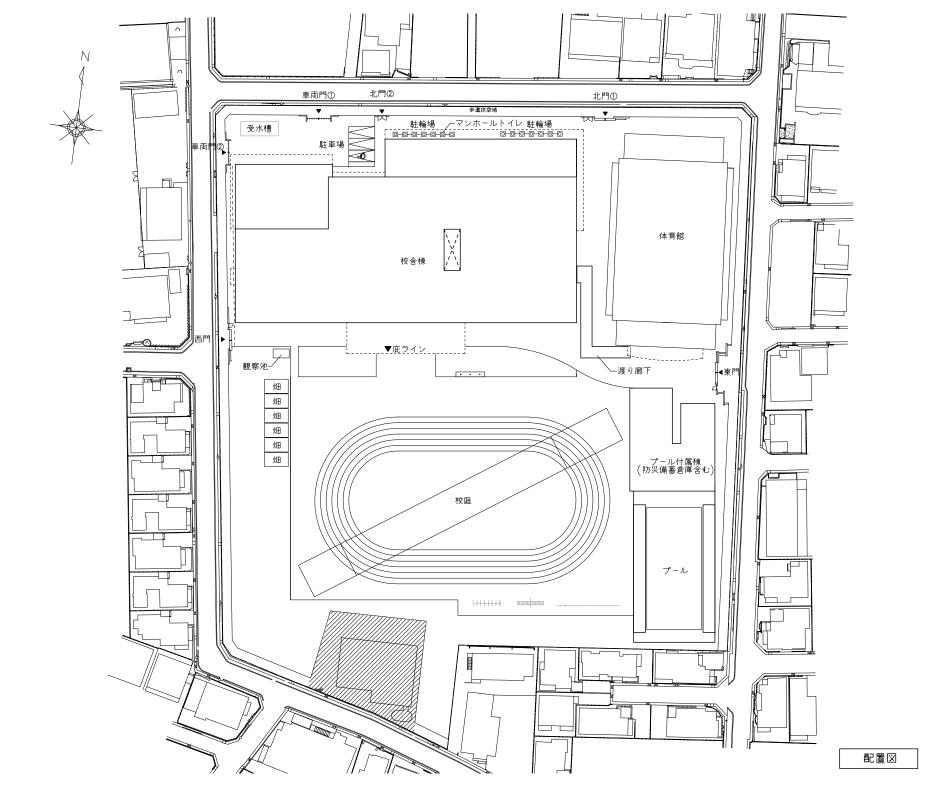
構 造:軽量鉄骨造3階建

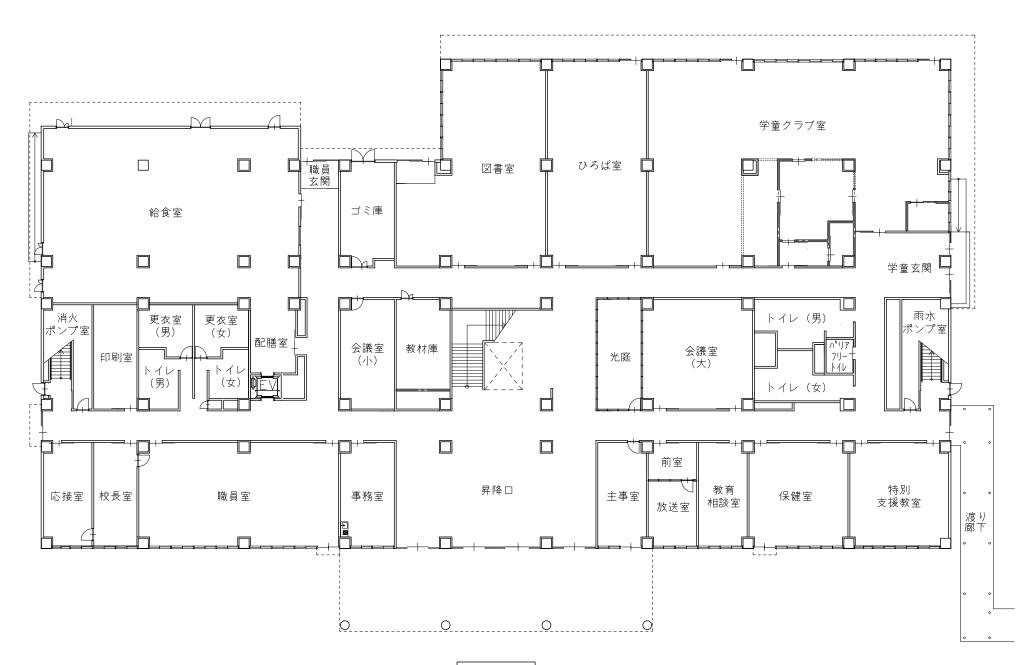
延床面積:約4,732 m²

計画諸室:普通教室、特別教室、特別支援教室、管理諸室、給食室

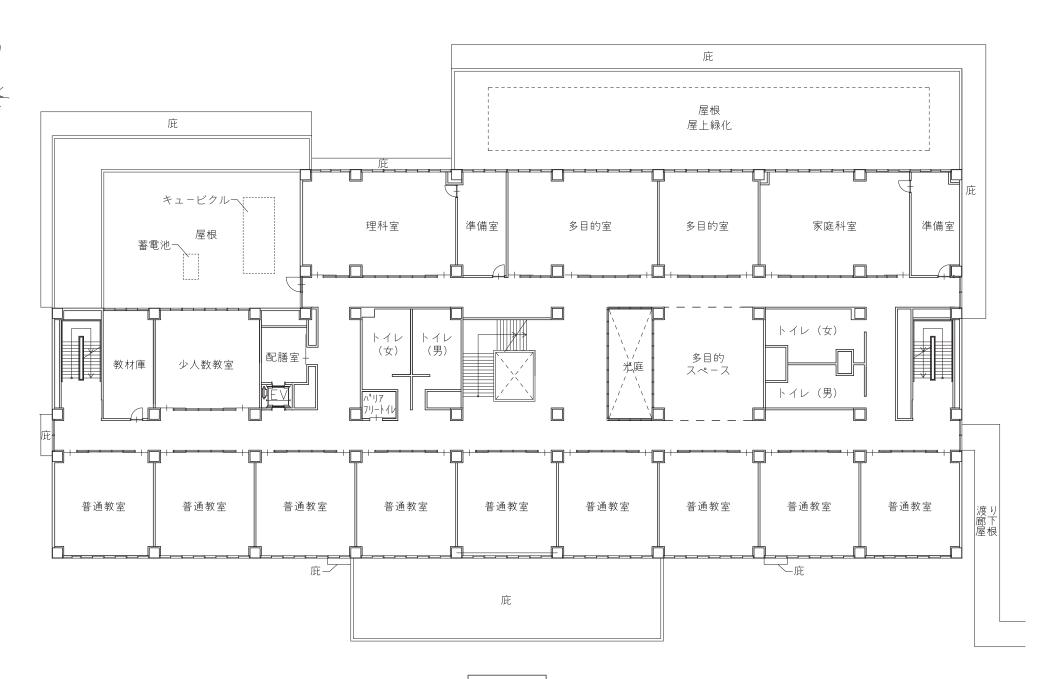
3 配置図、平面図および工事スケジュール

添付のとおり



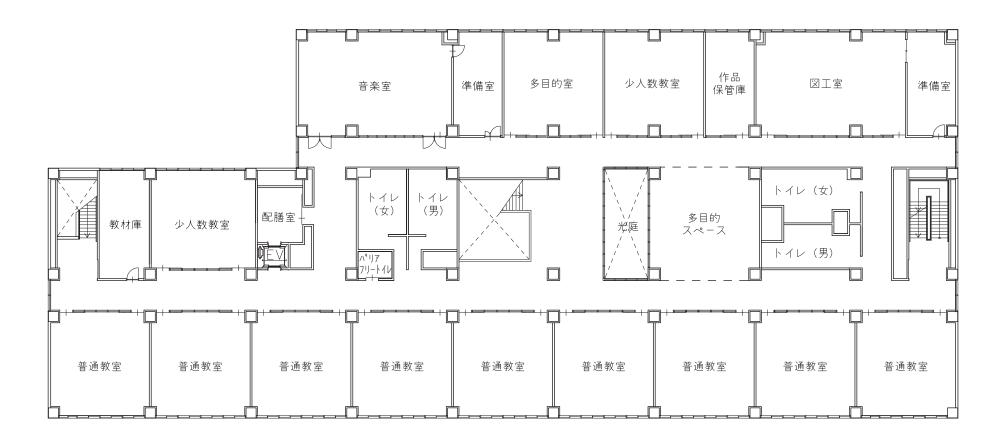


1階平面図

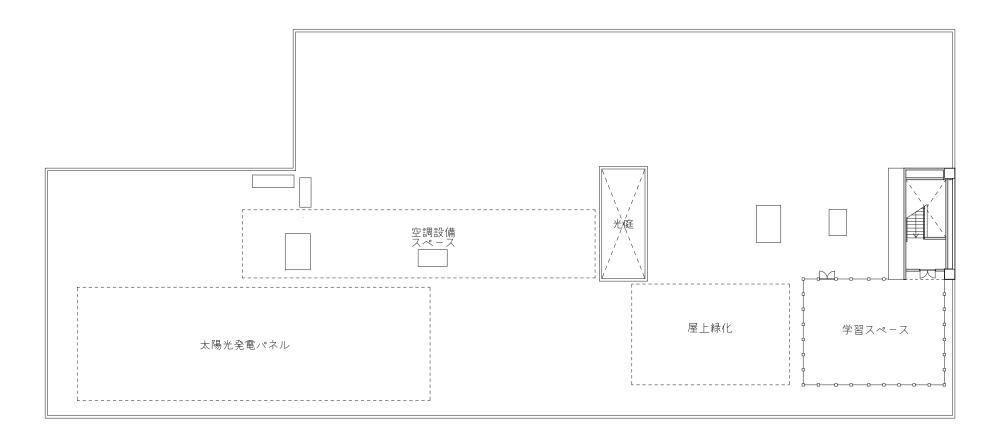


2階平面図

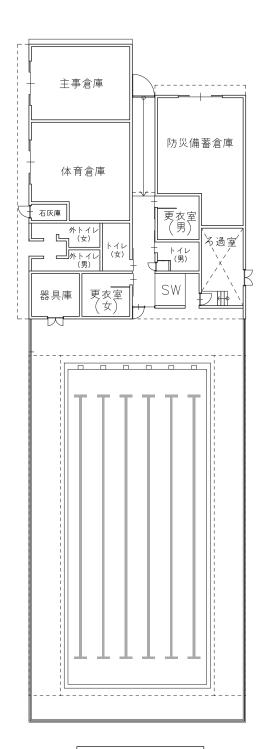


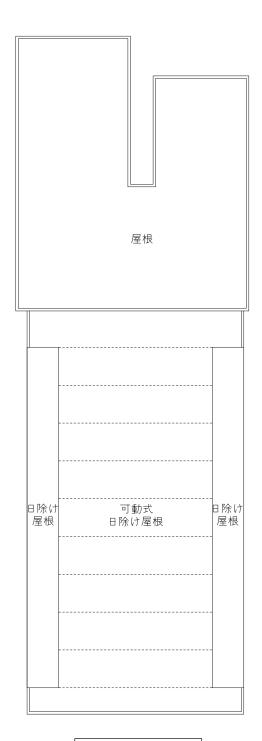




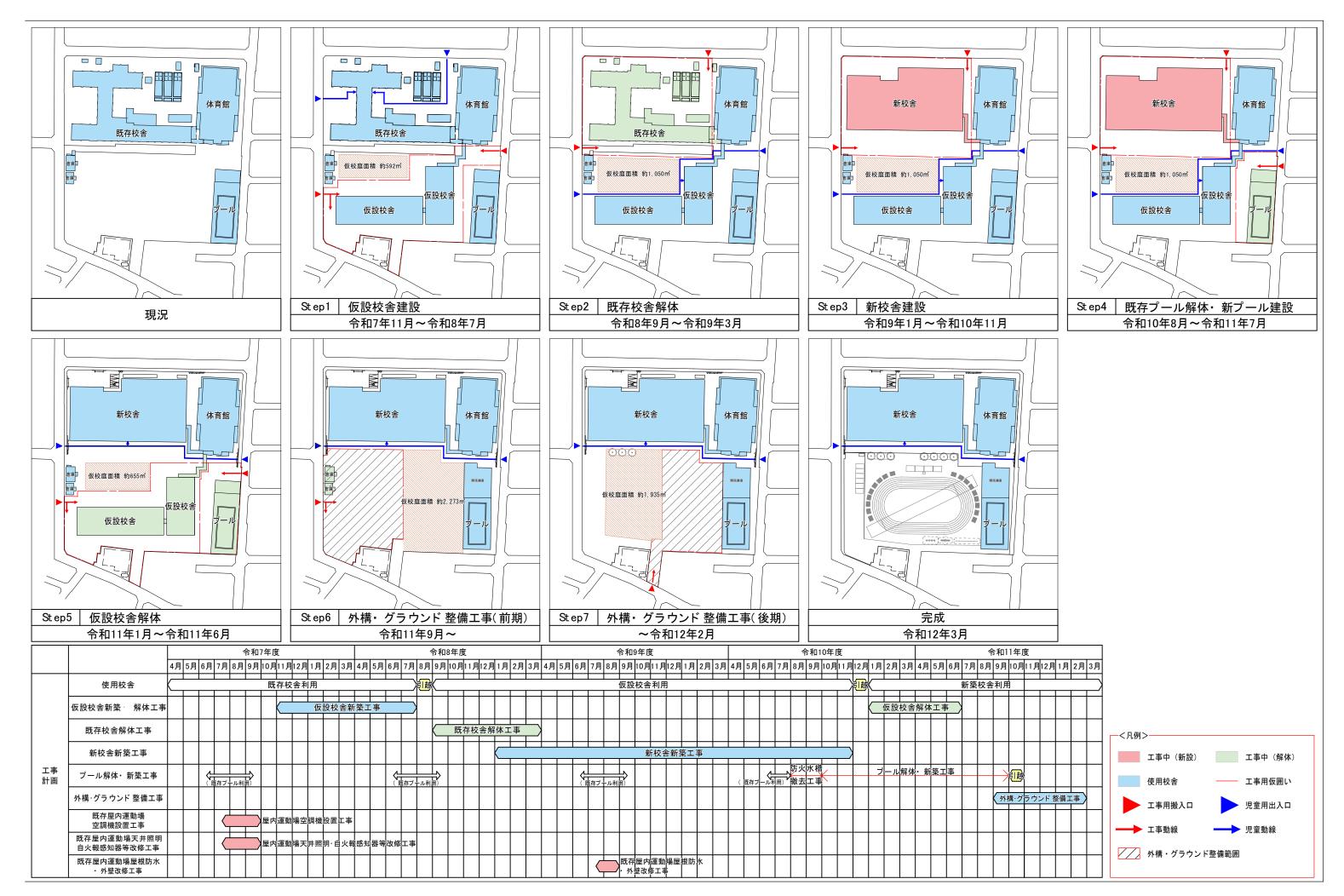








プール棟 平面図



令和7年6月4日教育振興部学校施設課

練馬区立開進第一小学校校舎等長寿命化改修基本設計概要について

練馬区立開進第一小学校の校舎の長寿命化改修にあたり、このたび基本設計が 完了したので、その概要について下記のとおり報告する。

記

1 設計方針

築80年まで使用するために必要な内外装の改修や設備の更新を行い、教育環境 を改善し、地域の防災拠点としての機能を強化する。

2 改修範囲

建築工事

内装(床・壁・天井) 外部(外壁・屋上)、建具

機械工事

空調設備(換気)、衛生機器、給水設備、排水設備、ガス設備、

昇降機(小荷物昇降機・階段昇降機)

電気工事

幹線動力設備、電灯コンセント設備、弱電設備、自動火災報知設備

3 仮設校舎

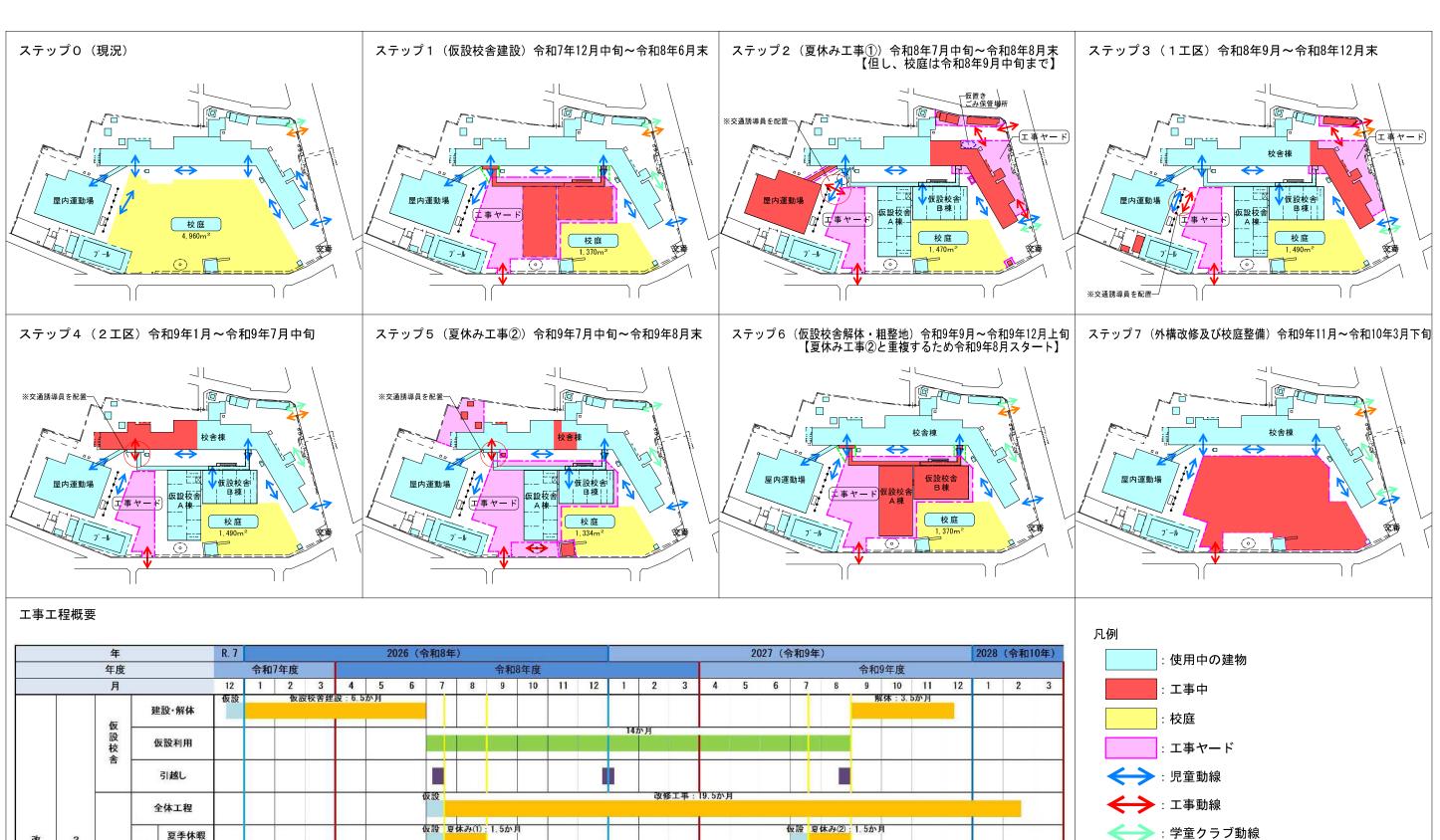
構造:軽量鉄骨造2階建

延床面積:約2,716 m²

計画諸室:普通教室、特別教室、配膳室等

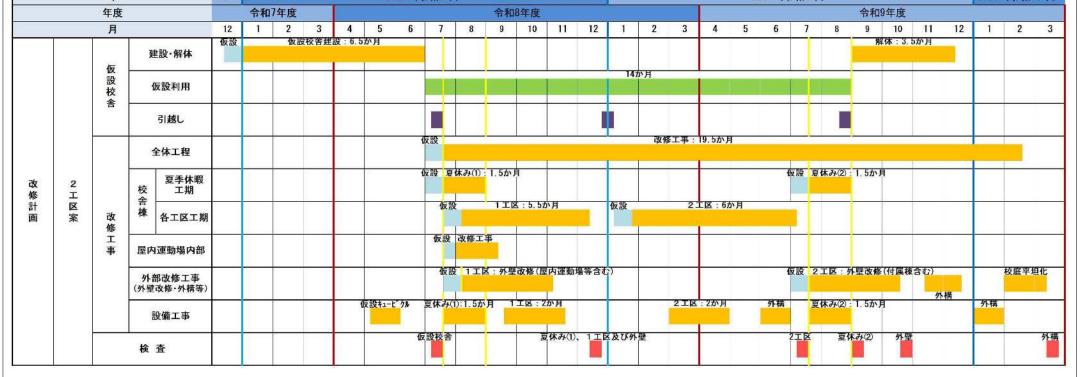
4 工事スケジュール

添付のとおり



: 給食車動線

-----: 仮囲い



3

令和7年6月4日教育振興部学校施設課

練馬区立開進第二小学校校舎等長寿命化改修基本設計概要について

練馬区立開進第二小学校の校舎の長寿命化改修にあたり、このたび基本設計が 完了したので、その概要について下記のとおり報告する。

記

1 設計方針

築80年まで使用するために必要な内外装の改修や設備の更新を行い、教育環境 を改善し、地域の防災拠点としての機能を強化する。

2 改修範囲

建築工事

内装(床・壁・天井) 外部(体育館外壁)、建具

機械工事

空調設備(換気)、衛生機器、給水設備、排水設備、ガス設備、

昇降機(小荷物昇降機・階段昇降機)

電気工事

幹線動力設備、電灯コンセント設備、弱電設備、自動火災報知設備

3 仮設校舎

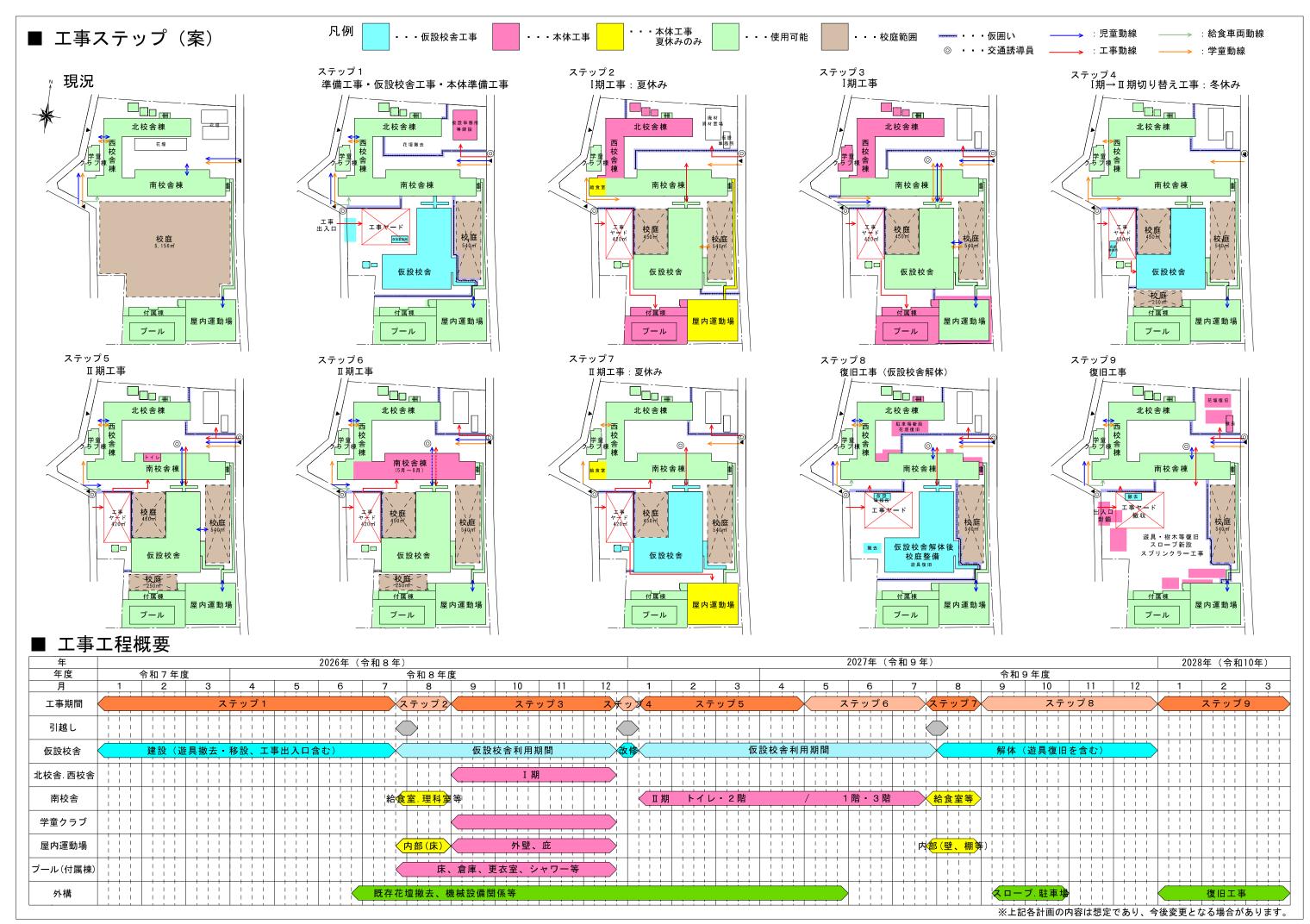
構造:軽量鉄骨造2階建

延床面積:約2,438 m

計画諸室:普通教室、特別教室、配膳室等

4 工事スケジュール

添付のとおり



令和7年6月4日 教育振興部学務課 こども家庭部保育課 こども家庭部在宅育児支援担当課

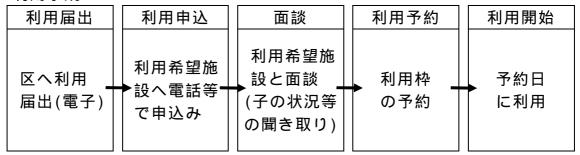
こども誰でも通園事業の試行実施について

国は、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するため、月一定時間まで、就労要件を問わず保育施設等を利用できる「こども誰でも通園制度」を創設し、令和8年度から子ども・子育て支援法に基づく給付制度として本格実施することとした。

区では、独自に利用上限時間等を拡大し、下記のとおり本年7月1日から 試行事業を開始する。

記

- 1 事業内容 別紙のとおり
- 2 実施施設実施を希望する私立認可保育園、私立幼稚園、地域型保育事業所
- 3 利用手続



4 今後の予定

6月11日 区民周知(区報、区ホームページ、SNS、ねりま子育で応援ア プリ等)

区民の利用手続開始

7月1日 利用開始 施設の空き状況や新たな実施施設は、ホームページ等で随時お知らせする。

令和8年度 本格実施

	区こども誰でも通園事業	国制度(参考)
対象者	0歳6か月~3歳になる <u>年度末</u> までの保育所等を 利用していない子	0歳6か月~3歳になる前日までの保育所 等を利用していない子
人員配置 基準	国基準に準じる	0歳児 3:1 、1・2歳児 6:1 一時預かり事業と同様の基準
実施方法	国基準に準じる。以下、例示。 保育園一時預かり事業の定員枠の一部を転換 私立幼稚園の未就園児保育の活用 施設の空き定員を活用	専用スペースを活用し専用定員枠を設定 専用定員枠を設け、在園児と合同保育 空き定員枠を活用
利用時間	利用頻度:週1回以上 利用上限: <u>月 48 時間・日 8 時間</u>	利用上限:月 10 時間
利用料	275 円 / 時間	300 円 / 時間 程度
運営費補助	利用枠(契約枠)に対する補助 5,000 円 / 1 枠(月上限 24 万円) 利用時間に対する補助 0歳児:1,300 円 / 時間 1歳児:1,100 円 / 時間 2歳児: 900 円 / 時間	利用時間に対する補助 0歳児:1,300円/時間 1歳児:1,100円/時間 2歳児: 900円/時間
要配慮児童への加算	国基準に準じる	医療的ケア児:2,400円/時間 障害児:400円/時間 要支援家庭の子:400円/時間